

敝れし衣

(大正十四年寮歌)

外山徳次郎君 作歌

三溝清美君 作曲

一

敝れし衣の袖に散る
不香の花の小夜嵐
淋しく強く生きぬ可く
手稻の峯に響くかな

二

送る梅花の芳せに
熱腸しほる杜鵑
誘ふ春風恨みては
散るも惜しまぬ山桜

三

きのふぞ移る秋風に
草木悲歌を奏ひつつ
月の面ゆく鳥の影
故山の空に微み行く

四

駄鞭荒野に打ふりて
赴くや皇土の城の外
青山我が有に帰し
緑水我を弔はん

五

国に誓ひし丈夫の
夢中原にさまよひて
仰ぐみ空にまたたける
北極星のかげ清し